

科目の種類	選択必修	科目名	地 理 B	学年	3	単位数	6
コ ー ス	文理特進コース						
教 科 書	帝国書院「新詳地理 B」 帝国書院「標準高等地図」						
副 教 材	第一学習社「最新地理図表 G E O」 帝国書院「地理データファイル 2010」						
<b>科目のねらい</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2年次に学んだ自然環境・社会環境の特色をもとに、環境や文化の特色を世界の地域ごとに考察する地誌の分野を中心に授業展開し、人間生活についての理解を深めます。</li> <li>・ 日本と世界各地の結びつきを学び、国際社会の一員としての資質を身につけます。</li> <li>・ 大学入学試験に対応できる学力を養います。</li> </ul> <p>具体的には</p> <p>世界の各地域における地形や気候などの自然環境を確認し、産業の特徴や生活の様子を学びます。地図をもとに、世界の位置関係を把握できるようにします。</p> <p>統計資料をもとに、世界の資源や産業の特色を考えられるようにします。</p> <p>実際に問題演習を繰り返して行い、知識の定着をはかります。</p>							
<b>授業の進め方</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6単位の授業を基本講義（4単位）と演習授業（2単位）に分割して展開します。</li> <li>・ 地図や統計、資料集を活用しながら、授業内容についてイメージができるように進めていきます。</li> <li>・ 必要に応じて家庭学習の課題を義務付けます。</li> </ul> <p>基本講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アジア・ヨーロッパ・アフリカ・アメリカ・オセアニアについて地域ごとにその特色を考察するとともに、2年次に学んだ知識の再確認と定着の度合いを深めていきます。</li> <li>・ 内容に応じて、作業課題を行います。</li> <li>・ 単元ごとに確認のための小テストを行います。</li> </ul> <p>演習授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2授業時間を1セットとして、基礎知識の確認・問題演習・解説を行います。</li> <li>・ 問題を解くことを通して、入試への対策と基礎知識の定着をはかります。</li> <li>・ 最初は2年次に学んだ系統的分野から始め、総合問題へと進めていきます。</li> </ul>							
<b>より良く学習を進めるためのアドバイス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ さまざまな事象を理解するために、基本的な地理用語を理解することは必須です。2年次のノートは内容の確認のために常時参考にしてください。</li> <li>・ 地理は地域と人間生活の結びつきを理解するものです。『なぜ?』『どうして?』という視点を持つ姿勢はとても大切です。</li> <li>・ 自分の学習を進めるためには、自分自身が使いやすいノートを作成することはとても重要です。配布される資料をまとめたり、口頭説明のメモや用語解説の欄をつくるなど、各自で工夫してみましょう。</li> <li>・ 問題演習は、どれくらいできるかを見るものではなく、できない部分を自分で把握していくためのものです。同じ問題を繰り返し解くことで、はじめて知識や解法の定着が図れます。復習を大切にしましょう。</li> </ul>							
<b>評価方法</b> <p>テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験は試験時間 50 分、100 点満点で、基礎講義の内容（70%）と、問題演習の内容（30%）の範囲で出題します。</li> <li>・ 平均点が 50 点から 60 点になるような難易度で出題します。</li> </ul>							
<p>平常点について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験の点数を中心に、作業課題・作成ノートなどの提出物の内容、問題演習の成績、授業姿勢、参加意欲を加味して、総合的に評価します。</li> </ul>							

	学習単元	単元の内容とねらい
前期	1. 衣食住と消費活動 衣食住の地域的差異 社会と衣食住のかかわり 消費活動と特色 2. 結びつきを強める現代世界 国家と国家群 世界を結ぶ交通・通信  貿易と経済圏 3. 近隣諸国の研究 朝鮮半島の地誌  中国の地誌  問題演習 ・地形環境 ・気候環境	環境の特色から、文化の形成や生活様式を考察します。 宗教と生活の関連、生活文化のグローバル化を考えます。 消費の地域性と現代の行動圏の拡大を学習します。  国家とは何か、また、国と国との結びつきを考えます。 航空交通網。情報技術の発達を中心に世界の動きを考えます。 また、交通手段の特色についても扱います。 世界の貿易が拡大する様子と問題を考えます。  自然環境や産業、生活を中心に、日本との交流についても 考えられるようにします。 日本と異なる政治経済体制をもとに、産業の特色や、今後の 動向などを学習します。
	第 1 回	定期考査
後期	4. 州・大陸規模の調査研究 東南アジアの地誌  南アジアの地誌 西アジア・中央アジアの地誌 ヨーロッパの地域的特色	国家ごとの特色をまとめ、日本との関連の深さを学習します。 ASEANについても取り上げます。 人々の生活の多様性を、インド中心にして学びます。 自然、民族、産業に着目し、地域の姿を捉えます。 小さな国が集まる姿を、国ごとの特色を踏まえて整理します。 また共同体として結束を強める理由を考えます。
	第 2 回	定期考査
後期	5. 国家規模の調査研究 アメリカ合衆国  ラテンアメリカの地誌 問題演習 ・農業と工業の地域的特色	広大な面積と地域性をとらえ、農業・工業、貿易など、合衆 国の全体像を把握できるように学習します。(カナダも含む) ラテンアメリカの諸地域について、その特色をまとめます。
	第 3 回	定期考査
後期	オセアニアの地誌  アフリカの地誌 10. 現代社会の諸問題 人口・食糧問題 都市・居住の問題 環境・エネルギー問題 領土・民族問題 問題演習 ・総合問題	文化や民族の多様性と、他民族文化に注目して、オーストラ リアの姿を中心に捉えられるようにします。 アフリカの諸地域について、その特色をまとめます。  人口増減について整理し、食糧と関わる諸問題を考察します。 都市の人口集中と開発について、課題を明確にしていけます。 さまざまな環境問題について、現象と課題、対策を学びます。 世界の民族、領土問題について、対立と共生への課題を学習 します。
	第 4 回	定期考査

学	年	末	考	查